

2019年6月4日

既存拠点への介護記録システム導入及び検証開始のお知らせ ～ 介護現場のICT化による効率化と品質向上を目指す ～

ソニー・ライフケアグループの一員であるプラウドライフ株式会社は、介護現場の業務負担軽減や情報共有の効率化によるサービス品質の向上を目的として、運営している介護付有料老人ホーム「はなことばセンター南」(神奈川県横浜市都筑区)へ介護記録システムの導入を行いましたので、下記の通りお知らせいたします。

1. 介護現場の現状

介護の現場では、ご入居者毎の膨大な記録の取扱いに多くの時間が割かれている実態があります。これまでは紙ベースで記録を行っているために、複数書類へ同一内容の記録を行ったり、記録にあたり、各部門からの情報を紙で集約するなどの非効率な現状があります。加えて、記録を活用した職員間の情報共有についても課題となっており、本来、注力すべきサービス提供とは違うところに、貴重な現場のリソースを割いているのが現実となっています。

2. 導入による改善効果

今般導入の介護記録システムにより、記録事務の効率化に加え、タイムリーでシームレスな情報共有が実現され、ひいてはお客様へ提供するサービス品質の向上につながるものと期待しています。また将来的には、蓄積されたデータの活用により、根拠に基づいた科学的な介護へのアプローチを行うなど、より高品質な介護サービス実現のための検討を進めたいと考えています。

改善効果の例

- ・記録業務の簡素化及び業務負担軽減
- ・書類保管の電子化及び記録物保管スペースの削減
- ・「いつ、どこで、誰が、何を、どのような」など記録の定量・定性化
- ・情報共有の効率化によるサービスアプローチの迅速化
- ・情報セキュリティの強化

《 ケアカルテ導入現場での様子 》



今後、現場職員とともに効果測定を進めるとともに、既存拠点への導入拡大等についても検討を進めてまいります。

以上